

# 大動脈弁置換術における心房細動に対する外科的アブレーションの有効性についての多施設共同後ろ向き研究

2010年から2014年までに心房細動を合併した初回大動脈弁置換術を受けた患者さん

## 研究協力のお願い

当科では「大動脈弁置換術における心房細動に対する外科的アブレーションの有効性についての多施設共同後ろ向き研究」という研究を行います。この研究は、2010年1月1日より2014年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管外科にて、心房細動を合併した初回大動脈弁置換術を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：大動脈弁置換術における心房細動に対する外科的アブレーションの有効性についての多施設共同後ろ向き研究  
研究期間：2017年2月24日（倫理委員会承認日）～2017年5月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 心臓血管外科 川瀬 康裕  
研究代表施設：心臓血管研究所付属病院

### (2) 研究の意義、目的について

大動脈弁置換術などの非僧帽弁手術における心房細動に対する外科的アブレーションの臨床的意義や術式選択の科学的根拠は現在ほとんどありません。かかる症例において、外科的アブレーションの頻度と術式の種類を調査し、各術式別に洞調律維持率、合併症発生率などを比較し、外科的アブレーションの臨床的意義などを明らかにすることを目的とします。

### (3) 研究の方法について

2010年1月1日より2014年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管外科にて、心房細動を合併した初回大動脈弁置換術を受けられた患者さんの外科的アブレーションの各術式別に洞調律維持率、合併症発生率などを統計解析し、各術式の有効性と安全性について検証します。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

本研究は UMIN 臨床試験登録システム：UMIN-CTR (clinical trials registry) に登録します。この研究成果は多施設共同研究として学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 心臓血管外科 助教 川瀬 康裕  
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5  
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：4659  
メールアドレス：yasu@nms.ac.jp